

神奈川県内トラック運送事業の働き方改革に関する実態調査報告書

調査結果（抜粋）



- ◆ 保有車両台数
 - ✓ 全体の約7割が20両以下の事業者
- ◆ 主な業態
 - ✓ 一般貨物運送業（71.6%）、食品（16.3%）、海上コンテナ（11.5%） ※複数回答
- ◆ 人員構成
 - ✓ ドライバー職：ドライバー職以外 = 7 : 3
 - ✓ ドライバーの女性比率は3.3%
- ◆ 情報収集方法
 - ✓ **働き方改革に関連する情報…神ト協のトラック時報やHP（81.7%）**（前回調査より**上昇（↑）**）
- ◆ 年休5日以上取得状況
（年次有給休暇の日数が10日以上となる労働者について）
 - ✓ **ドライバー職：全員取得できている（72.5%）↑**、5日取得できていない人がいる（26.4%）↑
 - ✓ **ドライバー職以外：全員取得できている（76.4%）↑**、5日取得できていない人がいる（18.7%）↓
 - ✓ **有給休暇義務化について、6割以上の事業者で就業規則の変更・届出済、及び管理簿を作成済↑**
- ◆ 時間外労働の状況
（法定休日を含まない）
 - ✓ **ドライバー職：年960時間超の時間外労働が発生していない（75.3%）↓**、発生している（22.5%）↑⇒**その内、80.4%が、適用される令和6年4月1日までは守れる見込み**
※取り組むべき課題は、社内での配車等の工夫、荷主への荷待ち時間短縮の要請が上位に。
※ドライバー職の労働時間の把握や管理方法は、日報やタコグラフ、点呼記録簿が主（複数回答）
 - ✓ **ドライバー職以外：年720時間超の時間外労働が発生していない（91.9%）↑**、発生している（6.8%）↓⇒その内、19.4%が今年度中には守れる見込み
- ◆ 時間外割増賃金率への準備
 - ✓ 既に割増賃金50%を適用している（6.2%）、対応できるよう対策を検討している（47.8%）、まだ対策等の準備は行っていない（23.6%）、割増賃金率の引き上げについて知らなかった（2.9%）
- ◆ 同一労働同一賃金
 - ✓ 正社員と非正規社員間の不合理な待遇の違いについて、違いは生じていない（79.7%）、違いが生じている（3.1%）
- ◆ ホワイト物流推進運動
 - ✓ 自社が参加している（11.2%）荷主企業が参加している（40.7%）、ホワイト物流を知らない（23.8%）
- ◆ 働き方改革を進めるうえでの課題や障害
 - ✓ 荷待ち時間（54.0%）↓、人手不足（43.7%）↑
※複数回答

